

適用拡大

REGARC™ 仕口溶接ソフトウェア



効果と特長

- 1 低スパッタ溶接**
ワークやノズルに付着するスパッタを低減します
- 2 低ヒューム**
ヒューム発生量を従来比1/2に削減、作業環境を改善します
- 3 生産時間の短縮**
低スパッタ化によるノズル清掃頻度の低減、ワークに付着するスパッタ低減により、後処理時間を短縮します

適用部位：S造仕口・SRC造仕口(ダイヤフラム×梁フランジ)

REGARC™

低スパッタ・低ヒューム

生産時間短縮

省エネルギー

スパッタ低減による高品質な自動溶接を仕口にも拡大

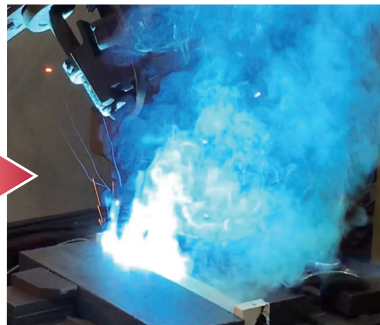
コア連結システム以外のシステムにオプション対応

REGARC™ とは?

溶接作業中のスパッタ・ヒューム発生状況 (仕口模擬ワークでの溶接例)



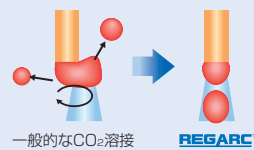
従来



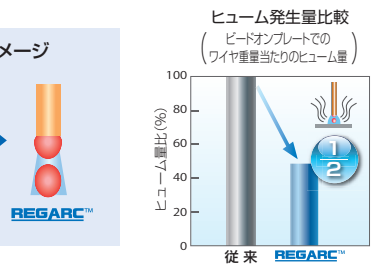
REGARC™ 適用

専用溶接電源 **SENSARC™ AB500** に搭載した **REGARC™** プロセスは、当社独自の電流・電圧波形制御によりグローバル移行においても規則的かつスムーズな溶滴移行を実現したものです (特許取得済)

溶滴移行のイメージ



一般的なCO₂溶接



溶接後のスパッタ付着状況



従来

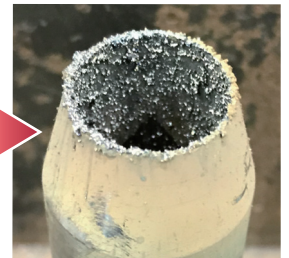


REGARC™ 適用

ノズルへのスパッタ付着量(スパッタ発生量テストの一例)



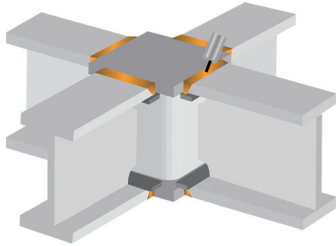
従来



REGARC™ 適用

(当社試験室データのため実際とは効果が異なる場合がございます)

REGARC™ 仕口溶接ソフトウェア適用範囲

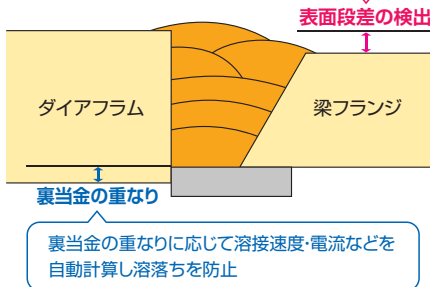


種類	ダイアフラム寸法	フランジ幅	フランジ板厚
S造仕口 SRC造仕口	250~1100mm	100~400mm	9~32、36、40、45、50mm 9~32mmは1mmピッチ

※段差仕口・勾配仕口はCVモードのみ対応

表面段差センシングと溶落ち防止機能

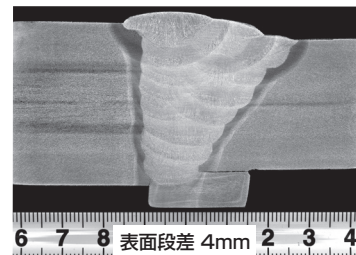
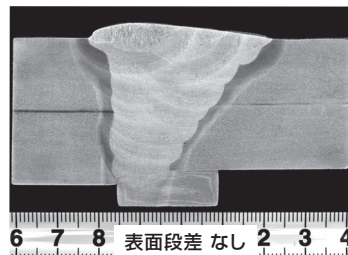
表面段差量に応じて溶接速度・電流・狙い位置・トーチ角度などを自動計算し溶接



裏当金の重なりに応じて溶接速度・電流などを自動計算し溶落ちを防止

表面段差にも対応 (最大7mm)

断面マクロの一例



一般社団法人日本ロボット工業会が定める建築鉄骨溶接ロボットの型式認証書を取得

REGARC™ 専用ワイヤ

REGARC™ の特殊波形制御に対応した
優れた通電性・耐チップ融着性・ワイヤ送給性

490MPa級(YGW11) **FAMILIARC™ MG-50R(N)**
550MPa級(YGW18) **FAMILIARC™ MG-56R(N)**



お客様へのご注意とお願い

- ①本カタログに記載された溶接材料、溶着金属、溶接金属などの諸特性データは、製品の代表的な特性や性能を説明するためのものであり、「規格」の規定事項として明記したものを以外、保証を意味するものではありません。
- ②実際の溶接構造物における諸性能については、施工物の設計、鋼板の化学成分、施工方法、溶接条件、施工者の技量などの影響がありますのでご注意ください。
- ③本カタログ記載の技術情報を誤って使用したことにより生じた損害につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。



警告

溶接の際発生するヒュームとガスによって、健康を損なうおそれがあります。排気、換気の実施、呼吸用保護具の着用など適切な予防措置をとってください。アーク光は目や皮膚に有害です。適切なしゃ光保護具を使用してください。感電によって死に至ることがあります。通電部に触れないでください。
ワイヤの始終端部などトーチ先端以外のワイヤが、溶接中に母材、ワイヤフィードなど非融線部に接触するとスパークが発生し、火災、熱傷の原因になるので注意してください。

お問い合わせ先

株式会社神戸製鋼所

溶接事業部門

<https://www.kobelco.co.jp/welding/>

マーケティングセンター 国内営業部

東日本営業室 (溶接システム) (03)5739-6325 (溶接材料) (03)5739-6323	西日本営業室 (溶接システム) (06)6206-6423 (溶接材料) (06)6206-6390
北海道営業所 (011)261-9334	中国営業所 (082)258-5305
東北営業所 (022)261-8812	四国営業所 (087)823-7444
中日本営業室 (052)584-6075	九州営業所 (092)451-6012

サービスセンター

コベルコROBOTiX株式会社 第一事業部 本社 (0466)20-3318 パーツセンター (0466)20-3333 東日本サービスセンター (0466)20-3370	中部サービスセンター (0561)32-9225 西日本サービスセンター (072)621-2020 中国サービスセンター (082)850-2810 九州サービスセンター (0942)81-4670 第二事業部(長崎) (095)846-1576
--	--

●本製品に対するお問い合わせは、下記の販売店あるいは当社までご連絡ください。